

平成 24 年 3 月 19 日

北海道知事

高橋 は る み 様

社団法人北海道消費者協会
会 長 橋本 智子

灯油等石油製品の価格抑制と安定供給及び備蓄の放出を国に
働き掛けることを求める要請

昨年の原油価格の高騰以降高値で推移している灯油・ガソリン等石油製品の価格が、今年 3 月に入りイラン情勢緊迫化等で再び急激に高騰しており、道民生活に深刻な影響を与えることが懸念されます。

特に、3 月に入り道東・道北で、100 円灯油（1 ㍓）が続出しています。灯油等石油製品価格の高騰は、家計を直撃し、年金生活者や低所得者にとっては死活問題となる極めて深刻な事態を招くとともに、北海道経済に与える影響も深刻です。

つきましては、道民が安心して生活できるよう次の事項について緊急に国へ働き掛けるよう要請いたします。

記

- ・ 灯油・ガソリン・LP ガス等石油製品の価格抑制と安定供給を業界に一層強く指導すること。
- ・ 原油価格の上昇に便乗した値上げを厳しく監視すること。
- ・ 石油製品の価格安定のため、備蓄原油を放出すること、及び小売価格の上昇が続いた場合は放出することを制度化すること。
- ・ 原油価格高騰の元凶となっている投機マネーの抑制システム構築を国際社会にアピールすること。